

岡山県高梁市

高梁市 市民生活部 住もうよ高梁推進課

OKAYAMA TAKAHASHI CITY

わたしあうまち高梁市 MAP

岡山県の中西部に位置する高梁市。比較的温和な気候に 恵まれ、年間平均気温は14℃前後で、災害の少ない住みや すいまちです。市内には国道と、在来線伯備線が走ってお り、アクセス環境も良好です。



電車(JR)でのアクセス

JR岡山駅より伯備線でJR備中高梁駅下車 特急列車で約35分/各駅停車で約50分 備中高梁駅前には、タクシー乗り場と高梁バスセンター(備北バス) があります。

《遠方より》

新幹線の場合(のぞみ利用、岡山駅まで)

●東京駅から…3時間12分 ●名古屋駅から…1時間35分

●新大阪駅から…44分 ●広島駅から ……34分

●博多駅から… 1時間37分

自動車でのアクセス

岡山自動車道・賀陽(かよう)インターチェンジより/ 国道484号で約15分

岡山自動車道・有漢(うかん)インターチェンジより/ 国道313号で約25分

《遠方より》

●大阪より…… 約3時間

●広島より…… 約3時間

●米子より …… 約1.5時間 ●高知より…… 約2.5時間

●高松より…… 約1.5時間

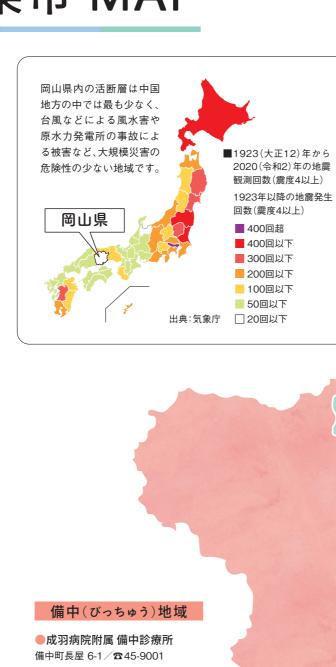
飛行機でのアクセス

岡山空港から自動車で約40分

岡山空港からはレンタカー(高梁まで約40分)または、JR岡山駅ま でバス(約30分)、JR倉敷駅までバス(約35分)でお越しいただき電 車へ乗換えてお越しください。

《遠方より》

●東京(羽田空港)より …… 岡山空港まで1時間15分 ●新千歳空港より · · · · · · · · 岡山空港まで1時間50分 ●鹿児島空港より ……… 岡山空港まで1時間15分 ●那覇空港より · · · · · · · · 岡山空港まで1時間55分



高梁(たかはし)地域

福地幼稚園 落合町阿部1896-1/☎22-0511 落合町福地1578/☎42-4136

落合町阿部 1683 / ☎22-4466

津川町今津 1069-2/☎22-2776 員/90名 預かり年齢/3か月~5歳

川面町1801-1/☎26-1326 預かり保育/〇

落合町阿部 1682 / ☎22-6578 預かり保育/○(一時のみ)

落合保育園

延長保育あり

落合児童館

福地幼稚園

成羽こども園 ●

● 川上こども園

落合町阿部1287-2/☎23-1199

成羽(なりわ)地域

●高梁市国民健康保険成羽病院 成羽町下原 301/ 242-3111

●成羽こども園

成羽病院附属

備中保育園

川上診療所 ●

備中診療所

仲田医院

●津川幼稚園

預かり保育/〇

□川面幼稚園

■落合幼稚園

成羽町成羽 2251-1/242-2011 員/120名

預かり年齢/0歳(6か月以上)~5歳 延長保育あり



● ○備中高梁駅 484

高梁中央保育園

仲田医院

高梁市国民健康保険

成羽病院

池田医院

落合児童館

落合幼稚園

落合保育園

有漢こども園 ●

●備中保育園

備中町布瀬182-1/☎45-3142 員/30名

預かり年齢/1歳~5歳 延長保育あり

高梁幼稚園

子育て支援センター

大杉病院

高梁保育園

藤本診療所

高梁中央病院

中之町7/☎22-2119 預かり保育/〇

高梁保育園

向町21-2/☎22-2423 員/120名 預かり年齢/6か月~5歳 延長保育あり

高梁中央保育園

下町134/☎22-4333 員/80名 預かり年齢/3か月~5歳 延長保育あり

南町 53 **2**22-3636

市街地

池田医院

藤本診療所

高梁中央病院

中間町58

222-2244

松原通 2113

222-3760

222-5155

大杉病院 柿木町 24

有漢(うかん)地域

有漢町有漢3328-3/☎57-2014

預かり年齢/0歳(6か月以上)~5歳

員/100名

●有漢こども園

延長保育あり

有漢IC

子育て支援センター 伊賀町 8/22-2450

川上(かわかみ)地域 ●川上診療所

川上町地頭2340/☎48-4188

●川上こども園

川上町地頭1365-1/248-3133 員/120名

預かり年齢/0歳(6か月以上)~5歳

延長保育あり

GIGAスクールサポー 社会教育士など6つの肩書を持 ち、高梁市の教育現場活性化の 学校連携コーディネ

気で取り組みたい!」と同年12 等の支援を行う予定だったが、 数回足を運んでICT教育推進 に誘われ、2020年8月に初 市のアドバイザーを勤める知人 事をしていた横山夫妻は、高梁 最前線で活躍する横山弘毅さん めて同市を訪ねた。当初は年に む妻の祐子さん。 き家活用や移住者支援に取り組 と、地域おこし協力隊として空 「どうせやるなら腰を据えて本 もともと都内で教育関係の仕

月に夫婦で移住。 タートさせた。 新生活をス



ラボ』をオープンさせた。 世代を超えた交流など、商店が 貨品店『守内商店』の再興だ。 地域の交流拠点づくり。そのひ 方々と共に約半年かけてリノ 内商店の家屋を購入。地域の を取り戻したいと思いました」 にそうした "わたしあい』 の場 た風土もあると思います。地域 あったからこそ受け継がれてき かつての風景を語ってくれた。 と近隣住民らが次々に集まり、 空き店舗のシャッターを開ける とつが16年前に閉店した日用雑 に子どもから大人まで誰もが気 「商品の売り買いやお裾分け、 横山夫妻は築100年の旧守 移住後に2人で始めたのは、 に立ち寄れる交流拠点『守内 ーションを重ね、2021年 備中高梁クリエイティブ

> するんです。子どもを通して縁 地域行事に誘ってくださったり

がつながることも多く、

人と人

あたたかい風土 子どもを歓迎する

額補助)、各種奨学金制度の創設 高梁市では結婚から育児までを など切れ目ない子育て支援を までの保険診療自己負担分の全 や、子ども医療費の無料化(18歳 に第一子となる女の子が誕生。 する相談窓口の設置 年には横山夫妻の下

しい思い出を作ってもらおうと に声を掛けてくださったり、楽 もを見ると地域の人が嬉しそう も多いですが、高梁市では子ど ると肩身の狭い思いをすること

より良い未来のために

名所も県下有数の農業地帯もあ 話す。高梁市には歴史的な観光 魅力に気付いていないだけ」と 方々からは「こんな何もないと 動する横山夫妻だが、地域の んは「何もないのではなく、まだ ことも少なくない。でも横山さ ころに、よう来たね」と言われる 子育てにとエネルギッシュに活

育てようとするあたたかい風土 のは、子どもを歓迎しみんなで 子育て環境の豊かさを実感した 「都会で幼い子どもを連れてい っているが、横山夫妻が特に のさまざまなエリアを訪れ、歴 画。地域の子どもたちが高梁市 高梁まるごとキャンパス』を企 学びのフィールドにする『備中 そこで、弘毅さんは地域全体を とがないという子どもも多い。

だったという。

会を生み出している。 「高梁市の良いところは、 地域

史や文化、自然に触れながら

ーパーソンらと交流できる機

創っていくことが、地域と子ど ると思うんです」 もたちのより良い未来につなが を活かしてみんなで教育環境を なってくれるところ。その良さ どもたちのために一生懸命に 人たちが教育に協力的で、

受け継がれていく。 しあい〟の文化は、次世代へと あたたかな風土の中で゛わた

地域と子どもたちの

感できる環境で子育てできる安

も自身が『愛されている』と実 とのつながり合いの中で、子ど

心感があります」

るが、そのどちらにも行ったこ それぞれの仕事に場づくりに





(上)「高梁市は、移住者を歓迎し、みんなで子どもを育てようとし てくれるまち」と横山夫妻 (下)市内中心部の商店街にも、かつ て商業施設『エスカ』として親しまれた空き店舗を借り、高梁城南 高校の生徒らが授業の一環で改修作業を行うなど、関わり合いの 輪が広がっている









ングテープや手ぬぐい、地酒のラ ベルなどさまざまなグッズを制作 (Instagram:@3design4)

(下)明治時代から受け継がれてき ため眺望も良く、庭には柿やキウ イも実るこの家でご主人と暮らし ている

中、ふと思い浮かんだのは、幼い 懐かしむ。 ン」してきた。 出身地である高梁市に「孫タ 活躍する能瀬理惠さ 家。ここを拠点に絵描き 夢に仕事に忙しい日々を送る 移住前は1日7 18年に岡山市から祖母の ただ広い世界に飛 ~8時間ほど んは、

び出したかったんです。若かっ だ!』って意気込んでいました に追われる暮らしを送っていた。 のアイデアを練るという、時間 マルシェに出店して作品を販売 派遣の仕事をこなし、週末には たんですね(笑)」と、当時を けでもなく、 ね。何か明確な目標があったわ 「『絵を描いてビッグになるん し、その合間に新しいデザイン

スフリ 態で不自由なく暮らしていま 戸のみで、あとはそのままの状 綺麗だったんです。 されるマルシェに出店するうち フォームしたのはリビングと納 移住後は、市内中心部で開催

描きとしての夢を追う、ストレ 分のペースで仕事をしながら絵 い込むようになった。現在は自 にデザインやパー に人脈が広がり、地域の人づて 「ここでの暮らしの魅力は、 ーな暮らしを送ってい トの仕事が舞

さんが 自然が身近にある静かな環境と 人のあたたかさですね。ご近所 『何か困ったことはない

る。

頃から親しんだ里山の風景。「田

市の空き家情報バンク制度を活 は高梁市の市街地に移り住み、 舎暮らしがしてみたい」とまず

あるの のあたたかい心のわたし合いが けしてくださったり、 さったり、野菜や果物をお裾分 か』といつも気にかけてくだ もこの地域ならではで 人と人と

会った。

代々の家主さんが丁寧に手入れ

たかなり古い建物なのですが、

「この家は明治時代に建てられ

してくださっていたのでとても

入居後にリ

らす築100年超の古民家と出用して物件を探す中で、現在暮

山深い地域に佇む一軒の古民

ながら表情豊かでどこか愛嬌が そのデザインはモノクロであり 多くの人に作品を見ていただき は自分のギャラリ とりの表れなのかもしれない。 ち』で暮らす能瀬さんの心のゆ が多い。それは、゛わたしあうま あり、あたたかみを感じるもの くことが多いという能瀬さん。 のインスピレーションで絵を描 今後の目標を聞くと「いつか マを決めず、その時どき を構えて、

広がっている。デザインなど、活躍の場は日 会、地元企業の商品パッケー くれた。 を訪れる観光客向けの展示販売 たいと考えています」と答えて 首都圏での個展開催や高梁市

02 Farmer Chron ENERGY (000) ひらめきを大切に、 スキルを活かす暮らしで 地域とつながる 髪の癒し処 彩紅 サロンオーナー 柏崎元子さん

> ジェイ バハドゥ 奥では、ネパー 思い立ち、今度はインドへと 帰国後、「生き方を変えたい」と キルと英語力を磨いた。そして る。 いろい台所』を切り盛りして レー店『ネパール人シェフのき は、東京都出身の柏崎さん。店の 癒し処『彩紅』を営んでいる 移住して古民家を改装し、髪の 吹屋地区。この地に家族4 象的な、高梁市北西部の成羽町 ンで6年間、美容師としてのス ス・ロンドンに移住。現地のサロ アップを図るため単身でイギリ ロンに勤めていたが、スキ るノスタルジックな町並みが印 柏崎さんはもとも ル出身の夫・プ ルさんがカ と都内のサ の

晴れの国・岡山県の吹屋地区が 経験し帰国。自然豊かで子育て たちがのびのび走り回 良く食べ物もおいしい、子ど しい町並みに一目惚れ。気候が れてみたところ、山間に佇む美 目に留まった。実際に現地を訪 しやす の持ち主だ。 う、なんともグローバルな経歴 営しながらヨガを習得したとい 渡って6年間ゲストハウスを運 インドでの結婚・出産・育児を い地域を探して いた時、

(左)元気いっぱいに走り回る、マユールくん(10歳)とアン







たたかい気持ちになりました を共に過ごしている森の仲間が ウサギの足跡があって。同じ時 後はインド は中国山地の懐にあり、冬には

付いていた。

お叱りを受けたりすることが 人に喜んでもらえたり、時には 「自分たちがしたことで地域の

晴れの国とい 月に移住を決めた。 があるこの地に、 2 0 1

もたちにとって、

とて

ベンガラ色の町家が軒を連

いるのだ思うと微笑ましく、あ 起きて戸を開けると、雪の上に 惑ったという柏崎さんだが、「朝 町中が雪景色に染まる。移住直 との環境の変化に戸

人の関わり合いの風土が今も息

えど、吹屋地区

本にあった、世代を越えた人と ね」と穏やかな笑顔で話す。 さらに、吹屋にはかつての日

てほしいですね」と、今また新し 見つけて、吹屋でも彼らの好き 先でスキルを磨くことで自分ら い未来を見つめている。 な地域でも、幸せに生きてい て、自分にしかできない何かを もたちにもいろいろな世界を見 て暮らしていきたいです。子ど ん。「ここではしっかり根を張っ しい世界を広げてきた柏崎さ

裾分けをしたり、そんな゛わた 礼に草刈りをしたりカレー しに幸せを感じています」 しあい』が日常にある今の暮ら く野菜を頂くのですが、 ひらめきを信じて動き、その 人間教育になっていると思い また、地域の方々からよ そのお のお

田舎暮らしの ゆとりが生む、 自由な発想のデザイン 絵描き 能瀬理惠さん





んなまじめで親切で優しいで

がっていくだろう。



商品名の『ココちゃん』は愛犬の名前 から。ころんと可愛いベビーカステラ を、1日500~600個焼き上げる。人と

桃農家を継ぎ、妻・裕子さんとと の生活サポ てる桃は、品質の高さと一つひ る。上藤夫妻が真心を込めて育 もに桃の生産直売を行ってい 00歳を迎える亨さんの母親

験。その後倉敷市で 20 年間過ご 食店経営など多様な職種を経 以来 26 年間、サラリ さんは 18 歳の時に大阪に移り、 7年に帰郷した。 ・マンや飲

る丁寧な仕事ぶりから、地元は とつ糖度を測ってから箱詰めす ンのきっかけは、今年 ト。現在は家業の で、困ったことは特になかった どにもすぐに入っていけたの 身の裕子さんも「高梁の人はみ です」と答えてくれた。京都府出

国から小麦粉を取り寄せて配合 2022年9月にオープンした。 いう安心感ですね。地域行事な している。 の7つの店舗や道の駅でも販売 というカステラは、 亨さん。毎朝4時に起きて焼く よ」と手際よくカステラを焼く 3日間。 もちもちの食感で冷め 『ココちゃ 「うちのカステラの賞味期限は を聞くと、「誰もが顔見知りと 亨さんにUターンするメリッ 半年間試作を重ねてやっと 着いた味わいなんです しいのが特徴です。 んのカステラ』を 高梁市内外 全

縁を結んだ人たちも遠方から訪 る上藤夫妻の人の輪は、 ねてくる。つながりを大切にす ちろん、かつて暮らした地でご に会いたいと、地域の方々はも よ」と亨さん。 で故郷が恋しくなるほどで てくれる。今は数日離れただけ ね。自分のやりたいことがで パワフルで気さくな上藤夫妻

たかさ。 憧れて大阪に出ましたが、 田舎の方が暮らしやす のは、空気の綺麗さと人のあた かがえる。 好な関係が築けていることがう んですよ」と話し、地域住民と良 ちが頻繁に顔を出し、他地域の 人にまで店の宣伝を 「故郷に戻ってきて特に感じ し、地域のみんなが応援し 若い頃は都会暮らしに いで

す。店を出した時も近所の人た してくれた 今は

した果物の郷でもある。

この地で生まれ育った上藤亨

から桃やブドウなどの栽培に適 る緑豊かな盆地で、温暖な気候 を高梁川の支流・有漢川が流れ の吉備高原の山々が囲い、南北 漢町。周囲を400~700

あるベビー

カステラの販売店

場を活用し、裕子さんの好物で

使用しない自宅併設の桃の出荷

高梁市の北東部に位置する





個性が輝く場所で 楽しさと感動を共有し、 新たな人生を共に歩む

社会福祉法人 P.P.P. P.P.P. オールスターズ!布寄 しいたけハウス

森田 徹さん





く。スローガンの通り、新たな

"わたしあい』 でさらにい

設の新設や廃校になった小学校

化にも挑戦してい





(左)呑り高い「天空のぷっくりやみつきしいたけ」は、旨味 の濃さと肉厚で噛み応えのある食感が特徴 (右)標高約 450メートルの里山にある3棟の菌床ハウス。見学者や応援 者と利用者が一緒に作業するなど、交流の場としても親し まれている (下)シイタケの香りに包まれて、「楽しい!」 と笑顔で収穫作業に取り組む利用者のみなさん。毎日愛情 を込めてシイタケを栽培している

2022年秋に知人に誘われ高 クグループの信託銀行で銀行員 田徹さん。長年、都内のメガバン 称で呼ばれ親しまれている、森 として働き、定年退職後の 「しいたけハウス」を始めた 地域の人たちから、「しいたけ さん」の愛

生のテーマは ありがたさを痛感しました」と 森田さんが大切にしてきた人

おいて努力が結果に結びつかな キ、明日にワクワク〟。「人生に "今日にイキイ

けを栽培するしいたけハウスと

新たな地場産業

いたけ栽培は季節や天候に左右 を興すというもの。屋内での 場産業であった葉タバコの集荷 つて高梁市成羽町布寄地区の地 な退職だった。その計画は、か 計画を進めていた前担当者の急

国産菌床からしいた

得ると期待されていた。 新たな就労機会と活躍の場を創 携われることから、障がい者の されず幅広い人が生産・ 地域活性化にもつながり

おじさん」「もりぞ

の歳になって農業の難しさを初 敗もたくさん経験しました。こ 業が軌道に乗り始めるまで、失 めて知り、農家さんの大変さと わりもなかった森田さんは、「事 たけ栽培はもちろん農業との関 施設内は空っぽ。それまでしい 森田さんが引き継いだ当時 ハウスが建っているだけで

きっかけは、

もともと高梁市で

「農業×福祉」の農福連携事業

梁市にやってきた。

いる。 多くの笑顔と感動を生み出して さまざまな "わたしあい" 「誰もが楽しく働ける場所は、

然に決まったんですよ」 なとアイデアを出し合ったら自 ローガンは、 い風を吹かせよう』というス 現していく拠点施設です。 みんなで創っていくものなんで 今後は新たにカフェ、宿泊施 しいたけハウスはそれを体 ハウスで働くみ

型施設として整備。利用希望者 感の輪を広げ、そこで生まれた で、しいたけハウスを拠点に共 店等にしいたけを出荷すること 近隣の道の駅やスーパー、飲食 活性化にも貢献してきた。また、 催し、利用者の意欲向上と地域 キューなどの交流イベント か、見学会や収穫体験、バー の受け入れを積極的に行うほ として活かせる就労継続支援B を、一人ひとりが障がいを個性 上で誰かに楽しんでもらえたら ら努力も全力で楽しもう! ・」と、しいたけハウス あること。それ · も 開

※掲載している情報は令和5年12月現在のものです。内容や制度、問い合わせ先は変更する 場合がありますので、あらかじめご理解をお願いします。

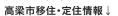
住まいに関する制度



空き家情報バンク制度

市内の空き家を有効活用するた め、台帳に登録し、市のHPに 空き家情報を提供しています。

住もうよ高梁



https://www.city.takahashi.lg.jp/site/sumouyo/inaka-gurashi.html

住宅取得助成事業

子育て世帯、若しくは40歳以下の方を対象に、住宅の新 築・取得に対して助成金を交付します。

- ●住宅の新築:用地購入代金の1/10(上限100万円)+ 世帯構成等により25~100万円
- ●中古住宅又は建売住宅の取得: 購入代金の1/10(上限100万円)

子育て世帯引越し助成事業

子育て世帯の転入促進を図るため、県外から転入する子育 て世帯に引越し費用の助成を行います。

●補助率2/3(上限10万円)

空き家バンク活用促進助成金 (空き家再生助成事業)

空き家情報バンク登録物件を対象に、空き家活用に要する 経費の一部を補助します。

- 入:補助率1/10(上限100万円)
- ●家 財 処 分:補助率2/3(上限20万円)
- ●物件の改修:補助率I/3(上限30万円)
- D I Y:補助率I/2(上限I0万円)

住宅リフォーム助成事業(子育で世帯)

子育て世帯を対象に、住宅のリフォームに対して助成金を 交付します。

- ●市内業者:補助率1/10(上限100万円)
- ●市外業者:補助率1/20(上限50万円)





仕事に関する制度

新規就農者向け農業スクール

栽培技術習得のための通年での講習会を開催しています。 (トマト・ピオーネ・モモ・アスパラガスの4コースを計画)

奨学金貸付制度

介護福祉士、看護師、医師、保育士、技師等の資格を取得後、 一定期間高梁市で勤務した場合、奨学金の返還を免除しま す。

農業実務研修

国・岡山県の制度に沿った2年以 内の就農研修制度です。 年額150万円の研修費の支給があ ります。(対象要件有り)



高梁市移住定住支援制度

移住・定住に向けた支援や、子育て、就業に関してのサポートをご紹介します。



出産・子育てサポー



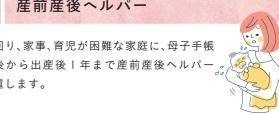
ママ・サポート119

妊婦さんの希望により、出産予定日、出産予定 医療機関等の情報を高梁市消防へ事前に登録 して、緊急時に救急車を利用する際のII9番 通報や医療機関への連絡・搬送をスムーズに行 います。(妊婦事前登録制度)



産前産後ヘルパー

身の回り、家事、育児が困難な家庭に、母子手帳 交付後から出産後 | 年まで産前産後ヘルパー を派遣します。



子ども医療費

子ども医療費を無料化 しています。(18歳ま での保険診療自己負担 分を全額市が負担)





子育て支援センター (ゆう・ゆうひろば)

就学前のお子さんと保護者の方が、気軽に集 まってゆったりと遊んだり交流ができます。ま た、子育ての相談に応じているほか、子育ての ための研修や親子で楽しめるミニイベントも 行っています。



おむつ支援

市内すべての保育園・こども園で使用する紙お むつの支援を行います。(令和5年6月~)





小規模特認校制度

自然環境に恵まれた小規模校で心身の健康増 進を図り、豊かな人間性を培い、明るく伸び伸 びとした特色ある教育活動のもとで学ぶこと を保護者及び児童生徒が希望する場合に、通学 区域外からの就学を認める制度を実施してい



子育て応援チケット

子育て応援チケットは、各種子育て支援サービス(下記の6事業)を1回分無料(※一部自己負担あり) で体験していただくことで、子育てサービスを知っていただき、子育ての負担軽減に繋がることを目 的としています。

産前産後ヘルパー派遣事業

ファミリーサポートセンター事業

一時預かり(一般型)事業

産後ママ安心ケア事業

病後児保育事業

歯科保健指導・歯科フッ素塗布

